

1-45 日本万国博覧会サイン計画
所在地——大阪府吹田市大字山田小川29-1
期間——1970年3月15日——9月13日
〈基本計画〉
プロデューサー——栄久庵憲司
配置計画——磯崎新
グラフィック・デザイン——福田繁雄
総合——金子修也
コア・オフィス——
GKインダストリアルデザイン研究所
〈実施設計〉
コア・オフィス——
GKインダストリアルデザイン研究所
ピクトグラフ——福田繁雄
配置計画——森岡侑士
設計協力——伊藤隆道, 五光産業株式会社
駐車場・道路標識——金子修也, 岩崎電気株式会社
外環道路表示板——福田繁雄, 田中一光
施主——財団法人日本万国博覧会協会
担当——坪居恭平
施工者——電々広告株式会社 (場内)
岩崎電気株式会社 (駐車場および外環道路)
タグチプロセス, びこう社, かまくら工芸
自動安全標識, 保安工業, 大阪コロナ工業
棚沢八光社



1



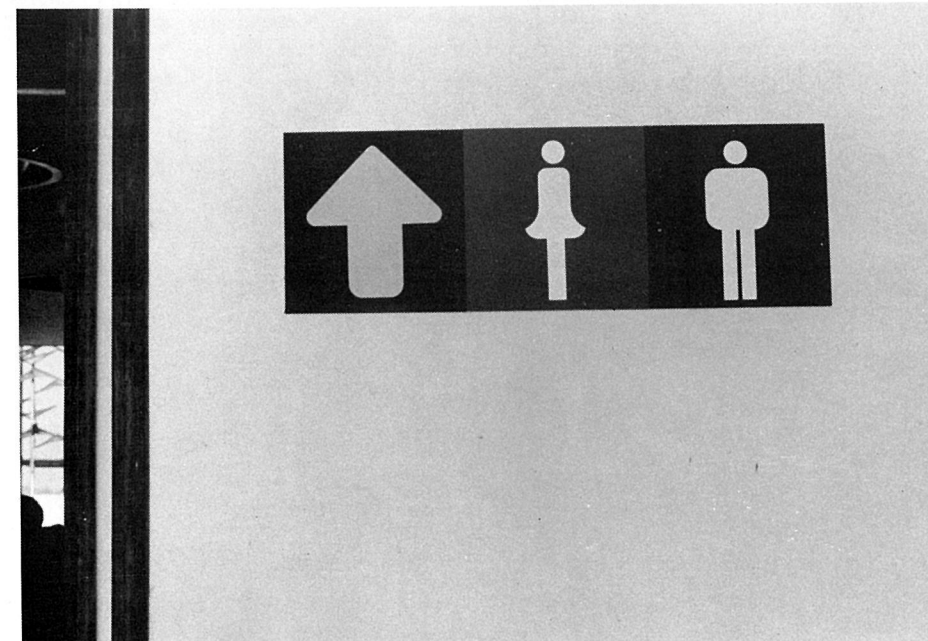
2



3



4



5



6



7

- 1 会場案内図 (混雑度標示方式)
- 2-7 会場内案内標識
- 2・7 ポール取付方式 3-5 はりつけ方式
- 6 つりさげ方式
- 8-10 駐車場内標示標識



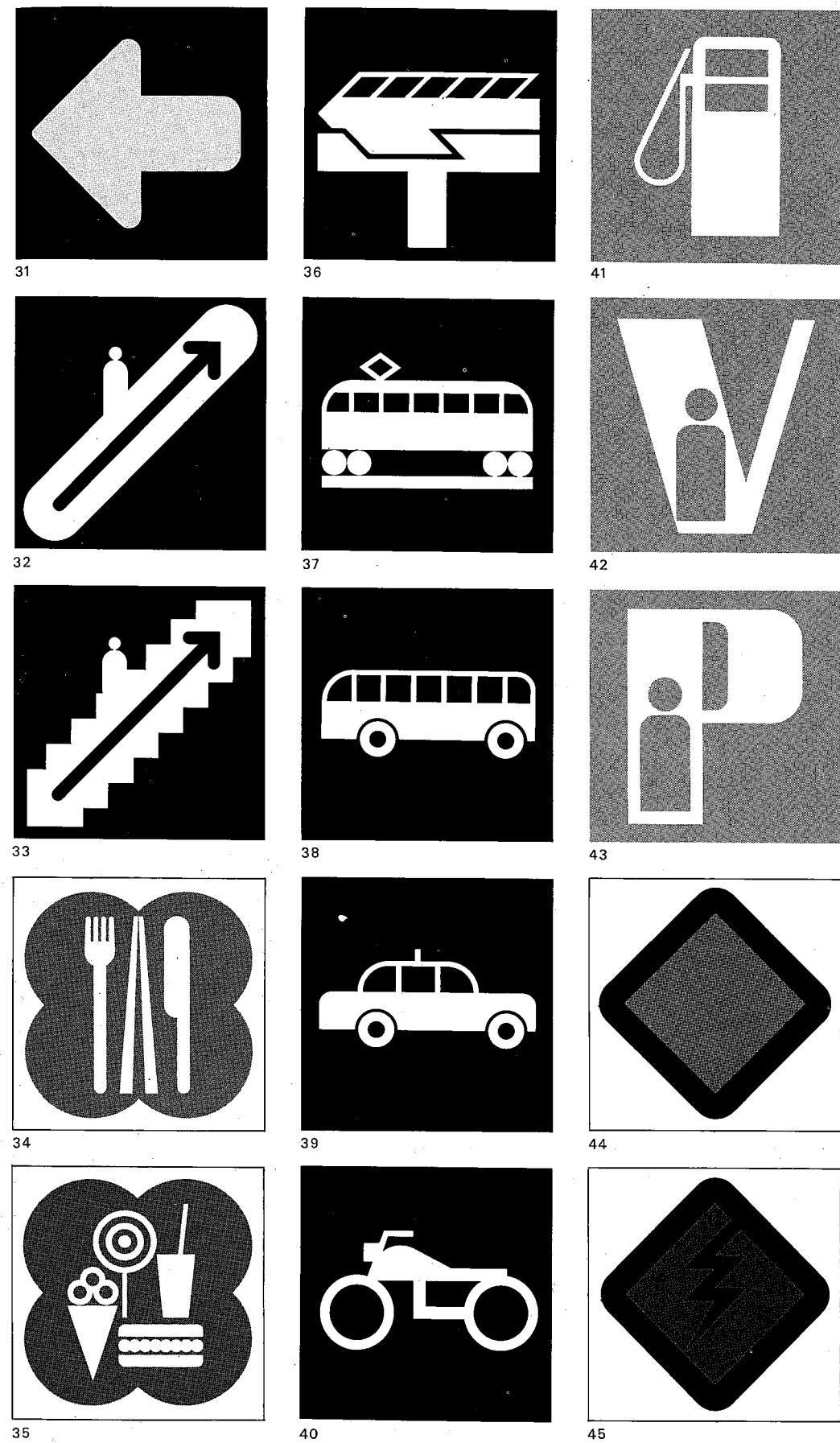
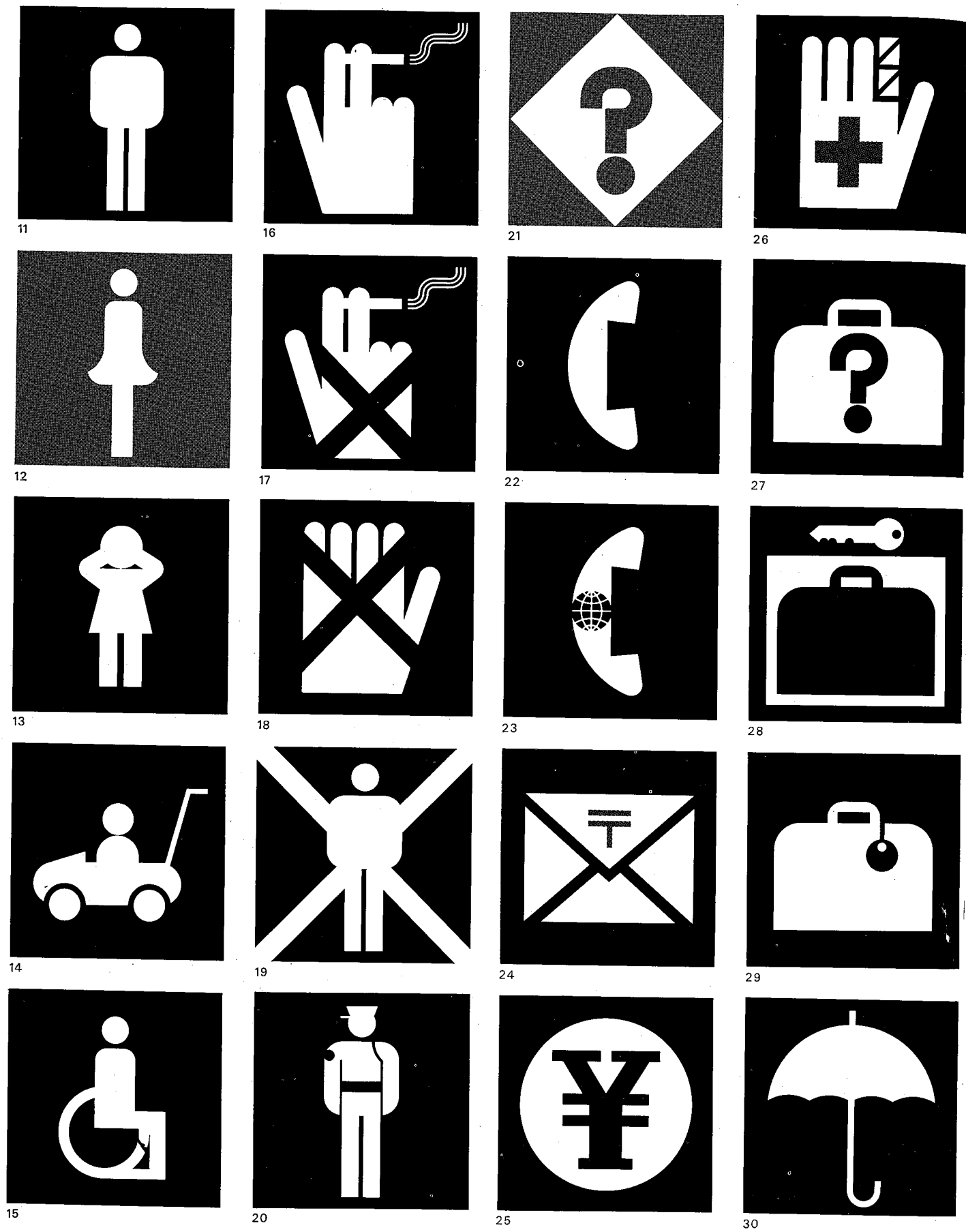
8



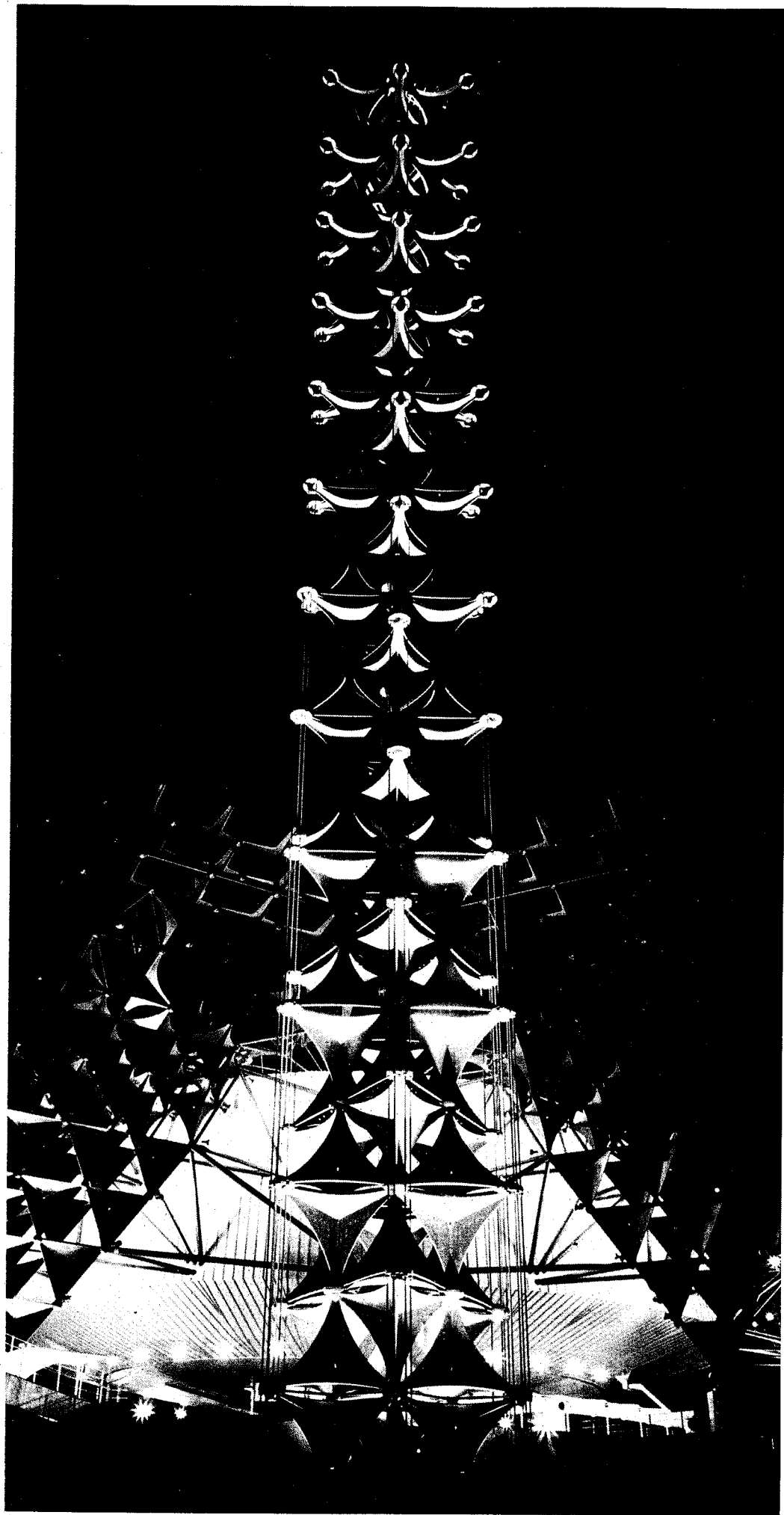
9



10

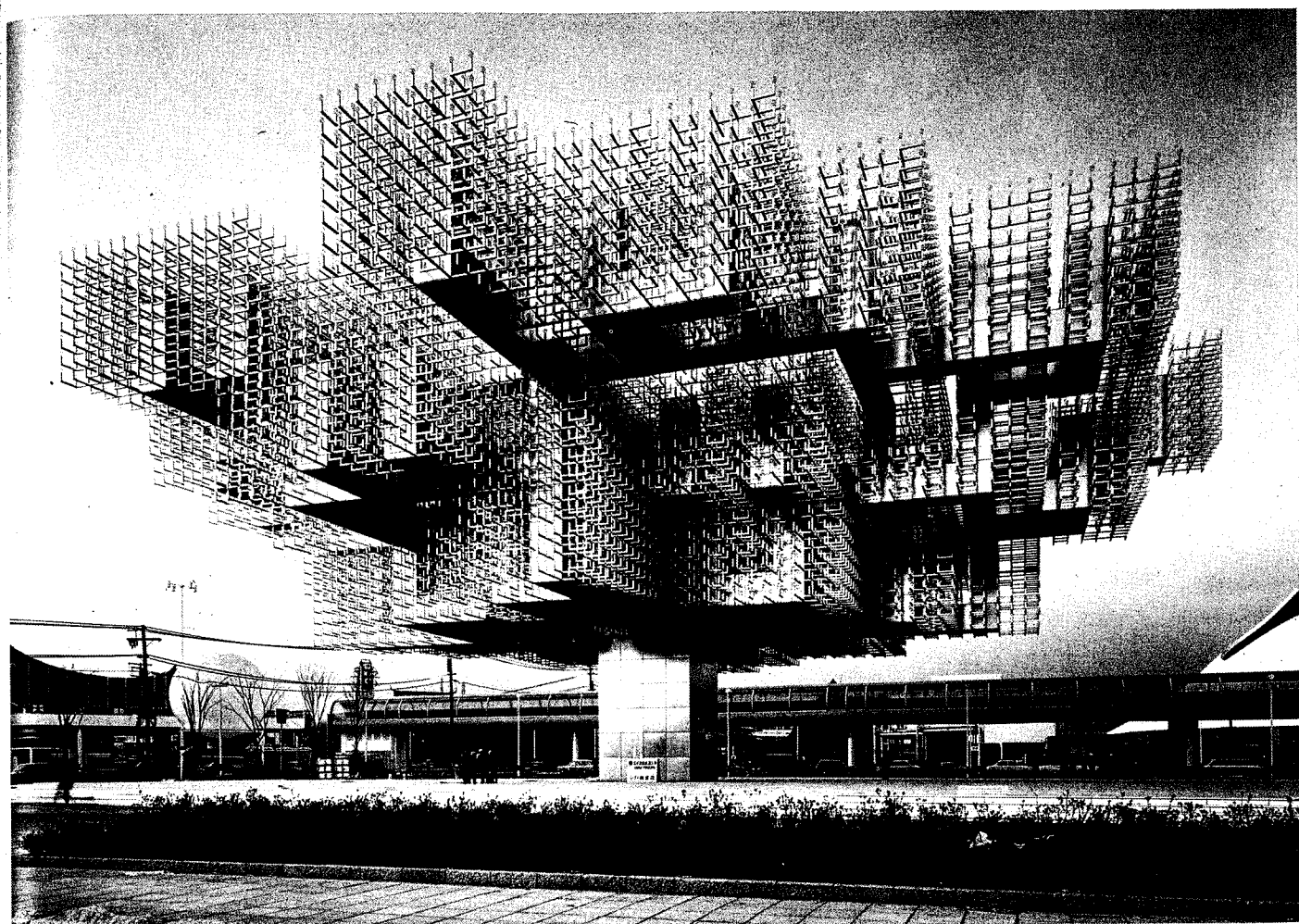


- 11—45 絵文字標識
- 11 手洗所・男子用
 - 12 手洗所・女子用
 - 13 迷い子
 - 14 ベビーカー
 - 15 身体障害者
 - 16 喫煙所
 - 17 禁煙
 - 18 手を触れるな
 - 19 立入禁止
 - 20 警備
 - 21 案内所
 - 22 電話
 - 23 国際電報電話
 - 24 郵便
 - 25 両替所
 - 26 医療救急所
 - 27 忘れ物
 - 28 貸ロッカー
 - 29 携帯品一時預り所
 - 30 傘
 - 31 矢印
 - 32 エスカレーター
 - 33 階段
 - 34 食堂
 - 35 売店
 - 36 モノレール
 - 37 電車
 - 38 バス
 - 39 タクシー
 - 40 オートバイ
 - 41 給油所
 - 42 VIP用入口
 - 43 報道関係車用入口
 - 44 保安入口
 - 45 電気設備

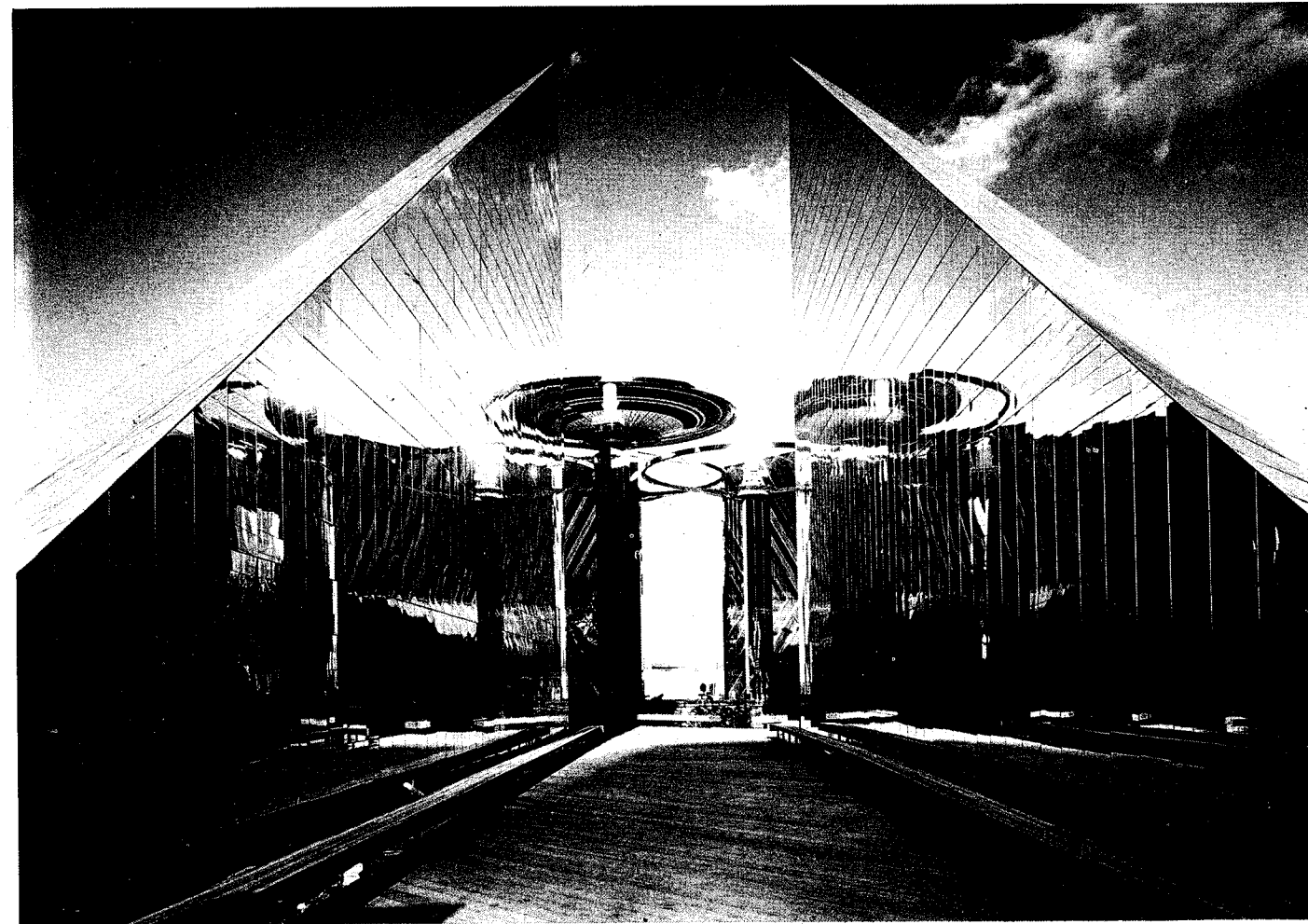


46

46—49 日本万国博覧会の
各パビリオンは「サイン建築」の
ひとつの典型であった。
46 東芝 I H I 館
設計者 —
黒川紀章建築・都市設計事務所
構造設計者 — 坪井善勝
47 スイス館
設計者 — Willi Walter
Charlotte Schmid, Paul Leber
構造設計者 — Alexander Moser
電気設計者 — Schmidiger + Rosasco
協力設計者 — 清家清, 村口昌之
48 カナダ館
設計者 — Erickson Massey
Jeffrey Lindsay
Kariotis & Kesler ほか
協力設計者 — 日建設計工務



47



48



49 〈太陽の塔〉と〈大屋根〉

〈太陽の塔〉

プロデューサー——岡本太郎

設計監理者——現代芸術研究所

〈大屋根〉

プロデューサー——丹下建三

設計者——都市・建築設計研究所

双星社, 竹腰建築事務所

構造設計者——坪井善勝研究所

川口衛研究所,

平田建築・構造研究所